

# “がん緩和ケア”をご存知ですか？

Q がん緩和ケアとはどういうものですか？

A・・・がんと診断された時から患者さんやその家族を支援する医療です。がんがからだの中に存在する場合はもちろんですが、がんに対する治療を受けて消失した後でも、『がんは治りました』と宣言されるまでは再発に対するチェックが必要ですので、緩和ケアの対象になります。

告知されたがんの進み具合が比較的早期の段階であれば、手術や抗がん剤治療、放射線治療などで治すことができます。しかし、がんが手術で取りきれなかった、あるいは抗がん剤や放射線治療

でがんが消えたとは判断された場合でも、がんと診断されたこと自体が精神的ストレスになることがあります。さらに、がん治療によって仕事や日常生活に支障をきたしたり、医療費などの経済的負担も問題になります。

一方、かなり進行した段階で発見されて手術で取り切れない場合や、不運にもがんが再発して、現在の医療レベルでは治すことができない時には、からの痛みのみならず、このころの痛みも伴ってきます。そして、受けている治療が『がんを治す』ものなのか、それとも『がんを共存しながら延命する』ものなのか、があいまいなままで生活

しておられる場合も少なくありません。患者さんやご家族の様々なつらさを理解し、寄り添ってゆくの緩和ケアです。

Q 具体的にはどのような診療をしているのですか？

A・・・大切な役割の一つに、がんによる痛みを和らげることがあります。からだの痛みに対しては様々な鎮痛剤を使います。そして、効き目が十分でない時には医療用麻薬を選択します。

『医療用麻薬は最後の手段である』、『麻薬中毒になってしまう』などと思われる場合が少なからずあるようですが、それは誤解です。吐き気や便秘などの

Q 診療以外にもサポートの場はあるのですか？

A・・・がん患者さんやご家族が自由に集い、交流を図る場として、副作用対策が十分に行われれば、医療用麻薬は極めて有用です。また、腸閉塞、腹水・胸水の貯留、呼吸困難、咳、倦怠感などの痛み以外の身体症状、あるいは不安や抑うつなどの精神面での症状に対しても治療を行います。さらに、栄養士による食事のアドバイスや研修を受けた理学療法士、作業療法士、言語聴覚士によるリハビリテーションも実施しています。このように、緩和ケアはがん診療に関わる全ての医療スタッフの協力が必要で、チームで対応しています。

当院では、がん患者サロンや「すらぎ」を開設しています。相談員が常駐し、特定の日にはがんの治療経験者が同じ立場の方の悩みや不安に寄り添い、このころのサポートをしています。また、がん相談支援センターでは、専任相談員ががんに関する様々な相談に対応しています。さらに、特定社会保険労務士による『就労相談会』を毎月1回開催し、がん治療と仕事の両立を支援しています。いずれも無料でご利用できます。

なお、平成29年2月26日(日)の午後に、ぎふメディアアコスモスで、「ご当地カフェin岐阜」を開催します。『がんになったあとの暮らしについて学び、語り合うイベント』で、お茶を飲みながら

A・・・がん患者さんやご家族が自由に集い、交流を図る場として、

～がんになっても自分らしくあるために～  
「就労と治療の両立」

## ご当地カフェin岐阜

「ご当地カフェ」とは、がんになったあとの暮らしについて学び、語り合うイベントです

開催日 2/26(日) 13:30～16:30

場所 ぎふメディアアコスモス

かんがえるスタジオ

対象 すべての方 参加費無料

定員50名(事前申し込み)

氏名、職業、電話番号をそえてFAXにて2月12日までにお申し込みください。

1講演:「がんと仕事のQ&A」

～がんサバイバーの就労体験に学ぶ～

国立がん研究センターがん対策情報センターがんサバイバーシップ

支援部長 高橋 都

2講演:「患者力」が仲間を支え、社会を変える

NPO法人愛媛がんサポート

おれんじの会理事長 松本陽子

3講演:行政で取り組んでいる就労支援について

岐阜県保健医療課

4ご当地活動紹介 岐阜での就労支援

5カフェタイム 小グループで意見交換

お問合せ 岐阜市民病院がん診療支援部

Tel.058-251-1101

Fax.058-251-9927

## 今月の先生



岐阜市民病院 外科

### 杉山保幸 先生

○専門分野

外科

○役職

副院長

医療安全局長

診療局長(臨床・病理研究部門)

緩和ケアセンター長

緩和医療科部長

○主な資格、認定

日本外科学会指導医・専門医

日本消化器外科学会指導医・専門医・消化器がん

外科治療認定医

日本大腸肛門病学会指導医・専門医・大腸肛門病

専門医

日本臨床腫瘍学会暫定指導医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

日本腹部救急医学会腹部救急認定医

日本肝胆膵外科学会名誉指導医

○卒業年、主な職歴

昭和54年岐阜大学医学部卒

米国ロスウェルパーク記念研究所研究員

岐阜大学医学部腫瘍総合外科助教授

帝京大学医学部附属清口病院副院長、外科教授

から講演を聴き、抱えている問題をみんなできつづくばらんに話し合うことを目的としています。ご興味のある方は、岐阜市民病院がん診療支援部にお問合せ下さい。